

神戸市 バーコード仕様書

- 設定コードについては、神戸市指定の形式に対応するものとする。
- GS-128 コードは「GS-128 (1 段)」で 44 桁固定長とする。
- データ属性が『9』のため、空白箇所は「0」で埋めるものとする。

1. コード体系

(9 1) MMMMMM CCC EEE~EEE S YYMMDD F PPPPPP T

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

	項目	属性	桁数	内容	
①	(9 1)	9	2	識別子 (固定)	
②	MMMMMM	9	6	メーカーコード	
③	CCC	9	3	自治体識別コード	
④	EEE～EEE	9	2	区コード	納付書発行番号
			2	税目コード	
			2	課税年度	
			8	通知書番号	
			2	期別コード	
			2	帳票コード	
⑤	S	9	1	再発行区分	
⑥	YYMMDD	9	6	支払期限日 (西暦下 2 桁 + 月 + 日)	
⑦	F	9	1	印紙フラグ	
⑧	PPPPPP	9	6	支払金額 (円単位)	
⑨	T	9	1	全体チェックデジット	
	桁数合計	9	44		

① 識別子

「9 1」で固定

② メーカーコード

受託者のメーカーコードを設定する

③ 自治体識別コード

委託者の自治体識別コードを設定する

④ 納付書情報

委託者が発行の納付書に記載のとおり。16 桁の数字で表示する。

当初課税用納付書の場合は、区コード (2 桁)、税目コード (2 桁)、課税年度 (2 桁)、通知書番号 (8 桁)、期別コード (2 桁)、帳票コード (2 桁) で表示する。

再発行用納付書の場合は、納付書発行番号 (16 桁) と帳票コード (2 桁) で表示する。

⑤ 再発行区分

初回発行を「0」として、再発行回数を1桁の数字で表す(0,1,2,3,...)

⑥ 支払期限日

支払期限を設定するときは「YYMMDD」で表示する

(例) 2026年4月1日のとき「260401」

支払期限を設定しないときは「999999」

⑦ 印紙フラグ

支払金額に対し、収入印紙が必要か否かを数字1桁で表す

収入印紙不要を表す「0」で固定

⑧ 支払金額

1円～999,999円までの金額を表示する

⑨ 全体チェックデジット

モジュラス10計算方式で算出する